

事務事業コード	752215	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年代~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	款	7	商工費		
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	
	目	4	観光費		
	コード	752215			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
国内外からの多くの観光客を誘致するため、旅行情報誌・新聞及びホームページへの霧島市の観光情報の掲載など、様々なメディアを利用し、積極的な情報発信を行っている。			事務事業の概要と同様				
※平成21年度の掲載媒体 <旅行情報誌> ○(株)ホワイトベアーファミリー・・・月刊タウン情報ひろしま(2010年1月25日発売) ○(有)データホルダー九州・・・Leak(2009年8月1日・10月1日・12月1日発売) <ホームページ> ○(株)ホワイトベアーファミリー・・・Web温泉ばらだいす九州(2009年11月・2010年1月・3月)			平成22年度計画				
前年度と同様							
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	掲載回数	回	2	4	2	2	
イ	ホームページ掲載回数	回	未掲載	3	3	3	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	広告を掲載した旅行雑誌を、新聞等の読者	掲載媒体販売部数	万部	58	13	30	30
イ	広告を掲載したホームページの閲覧者	ホームページを見た人の数(アクセス数)	万回	未掲載	1,395	1,400	1,400
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	霧島市を知ることができる。	広告を見た人の数(掲載媒体発行部数)	万部	58	13	30	30
イ	霧島市を知ることができる。	ホームページを見た人の数(アクセス数)	万人	未掲載	1,395	1,400	1,400
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	霧島市を観光地として認知してもらおう。	温泉地知名度ランキング	位	31	29	24	23
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 昭和50年代に合併前の各市町村を情報発信するために開始された。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし。	
	当初予算額	3,193			1,606
	補正予算額	0			
	予算合計	3,193	1,606		
決算額	国庫補助金	0	この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。	
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	2,077			
	支出合計	2,077			

事務事業コード	752215	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費	2,077		2,077	1,606		1,606			
通信運搬費									
広告料	2,077		2,077	1,606		1,606			
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	2,077		2,077	1,606		1,606			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	2,077		2,077	1,606		1,606			
計	2,077		2,077	1,606		1,606			

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	3,193 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	3,193 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752215	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	旅行雑誌や新聞に霧島市の観光情報を掲載し、情報発信をすることは、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光情報を発信することは、市の重要な役割であり妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は情報を掲載した雑誌等の読者であり妥当である。意図は読者が霧島市を知ることができれば、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	より多くの媒体に広告を掲載することができれば、霧島市を観光地として認知してもらう機会が増え、成果向上余地がある。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	観光を計画している方は、各市町村のホームページなどによる情報手段だけでなく、雑誌広告により一定の地域以外も含めた形で計画をたてることもあるので、この事業をなくなると、霧島の観光情報を発信する機会が減少し、観光地としての認知度が低下する恐れがある。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	広告掲載数量(頁又は質等)を少なくすることで、事業費を削減することはできるが、情報発信の機会が減る恐れがあることから、これ以上の削減はできない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員の事務としては契約、支払、資料提供、取材協力等、最低限必要名ものであり、削減できない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数の人に発行している新聞・雑誌であり、公平・公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  より多くの媒体に広告を掲載することができれば、多くの方に霧島市を知ってもらえるが、限りある予算の中で、より効果を高めていくために広告を掲載する雑誌等の選定についても十分に検討していく必要がある。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
限られた予算の中で、効果的で効率的に霧島を情報発信することができる広告媒体の見極めが必要である。	限られた予算の中で、効果的で効率的に霧島を情報発信することができる広告媒体の見極めが必要である。

事務事業コード	752220	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年代~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	4	観光費		
	コード	752220			
関連計画	霧島市観光基本計画				

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
<p>新幹線やJRを利用し鹿児島を訪れた観光客に対して本市への誘致を図るために、広告看板を設置する事業。昭和50年代に隼人駅前及び隼人駅構内、日当山駅前に観光案内看板を設置している。</p> <p>また、平成16年に九州新幹線が開通したことに伴い、鹿児島中央駅に電照看板を設置している。</p> <p>※電照看板とは……カラーフィルムに裏から照明をあてて広告するもの</p>			事務事業の概要と同様			
			平成22年度計画			
			鹿児島中央駅内の改修に伴い、電照広告場所及びサイズに変更が生じたことにより、予算額の増額がある。			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	設置枚数	枚	4	4	4	4
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	駅利用者(鹿児島中央駅)	万人	340	315	350	350
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	霧島市を知ることができる。	人	340	315	350	350
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	霧島市を観光地として認知してもらおう。	位	31	29	24	23
イ						

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度 (決算)	1,149	22年度 (予算)	1,786	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額		0				
	予算合計		1,149		1,786		
決算額	国庫補助金		0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		1,149				
	支出合計		1,149				
						なし	なし

事務事業コード	752220	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成21年度(決算)			平成22年度(当初予算)			平成23年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬								
2	給料								
3	職員手当等								
4	共済費								
7	賃金								
8	報償費								
9	旅費								
10	交際費								
11	需用費								
	消耗品費								
	燃料費								
	食料費								
	印刷製本費								
	光熱水費								
	修繕料								
12	役員費	1,149	1,149	1,595		1,595			
	通信運搬費								
	広告料	1,149	1,149	1,595		1,595			
	手数料								
	保険料								
13	委託料								
14	使用料及び賃借料			191		191			
15	工事請負費								
16	原材料費								
17	公有財産購入費								
18	備品購入費								
19	負担金補助・交付金								
20	扶助費								
21	貸付金								
22	補償補填及び賠償金								
23	償還金・利子・割引料								
24	投資及び出資金								
25	積立金								
26	寄附金								
27	公課費								
28	繰出金								
	計	1,149	1,149	1,786		1,786			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,149		1,149	1,786		1,786			
計	1,149		1,149	1,786		1,786			

補助率	国							
	県							
補助基本額								

平成21年度	当初予算	1,149千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
	予算合計	1,149千円		

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	752220	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	駅を利用する観光客の方々に、霧島市を知ってもらい、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の観光地として認識度を高めるため観光情報を発信をするものなので妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は駅の利用客で妥当である。意図は、駅を利用する観光客が観光案内板や電照看板を見て、霧島市を知ってもらい、霧島市を観光地として認知してもらうことに結びつくので妥当である。
	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	看板の写真等を四季ごとに替える等、リアルタイムな情報発信に努めれば、霧島市のよさを駅利用者へPRでき、成果の向上余地がある。
B 有効性 評価	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	鹿児島中央駅に設置してあるので、この事業をなくすと、鹿児島中心部の駅から霧島を広く知ってもらう手段が無くなり、新たな観光客の開拓ができなくなる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	より多くの駅利用者に霧島を認知してもらうために削減することはできないが、まだ、設置していない駅への設置することで、更に多くの方に周知が図れる。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は継続の看板設置については契約及び支払事務のみであり、削減余地はない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	広く誰でも知ることができる事業であるので不公平ではない。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  年間四季折々のデザインを掲出できれば、より多くの乗客等に周知することができ、多くの方に霧島市を知ってもらえる。(成果向上余地に書いてある事項についての反省点を記載してください。)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	
3 今後の方向性 <PLAN>			
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>		<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>	
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要			
<b>(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか</b>			
平成22年度の取組み概要及び期待される効果		平成23年度に取り組むべき具体的な内容	
鹿児島中央駅の電照広告の設置場所及びサイズの変更に伴い、予算が増額になっているが、駅利用者へのアピール度が図れる箇所に設置されているので、霧島のPRが図れる。		現状のままの取組みを継続したい。	

事務事業コード	752227	事務事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	4	観光費		
コード	752227				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)						
霧島市PRスタッフ運営協議会に補助金を交付し、同協議会が行う霧島ふるさと大使の選考・活動を支援している。(市の活動)同協に補助金を交付手続きと、同協議会の事務局を担う。(霧島市PRスタッフ運営協議会の活動)霧島ふるさと大使選考会の開催、霧島ふるさと大使の活動支援						
※ 霧島市PRスタッフ運営協議会とは、市内外で開催される各種イベントや観光宣伝において、霧島市をPRし観光客を誘致することを目的に選定する霧島ふるさと大使(PRスタッフ)の選考会の開催や活動を支援する団体で、霧島市・霧島商工会議所・観光協会にて組織される。						
(霧島ふるさと大使募集の概要)○ 霧島ふるさと大使 3名募集						
○ 任務 8月~翌年年7月の1年間、霧島市をPRするための観光宣伝や物産展、霧島市の主催・後援・協賛する行事等に参加						
○ 応募資格① 霧島市に居住か職場がある方で、18歳以上(高校生を除く)の健康でやる気のある方なら、老若男女・未婚既婚を問いません。② 月平均3、4日程度の業務・出張に従事できる方。③ 自薦・他薦を問いません。						
補助金・負担金の交付先	霧島市PRスタッフ運営協議会		補助金の対象経費	PRスタッフの選考・活動支援		
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 出務回数		回	55	36	40	40
イ PRスタッフ選考会応募者数		人	14	13	15	15
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 国民	日本の人口	億人	1.27	1.27	1.27	1.27
イ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 各種イベント・観光宣伝で効率的に観光PRができる。	出務人数(延べ)	人	70	61	72	74
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 霧島市を観光地として認知してもらおう。	温泉地知名度ランキング	位	31	29	24	23
イ						

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	1,710	昭和50年代、南九州における新婚旅行ブームが下火になり、観光客の減少に歯止めをかける手段としてミスコンテストを行い、ミスによる観光PRを全国各地で行うことで、観光客の誘致を図ることを目的に開始された。	平成19年度に応募対象に男性も応募できるようになり、PRスタッフとして1名選出された。
	補正予算額			
	予算合計	1,710		
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	1,698		
	支出合計	1,698		
			老若男女や未婚・既婚をイメージする名称を廃止し、誰でもなれる新たな名称に変更するように求められていたため、平成20年度、公募により市PRスタッフ「霧島ふるさと大使」に名称を変更した。	老若男女や未婚・既婚をイメージする名称を廃止し、誰でもなれる新たな名称に変更するように求められていたため、平成20年度、公募により市PRスタッフ「霧島ふるさと大使」に名称を変更した。

事務事業 コード	752227	事務 事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業						担 当 部	商工観光部
									担 当 課	観光課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)								
1	霧島市PRスタッフ運営協議会							補助金	1,698	補助金	1,539	補助金		
								自主財源	200	自主財源	200	自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	1,898	合計	1,739	合計
		●								自主財源率	11%	自主財源率	12%	自主財源率
2								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
										自主財源率		自主財源率		自主財源率
3								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
										自主財源率		自主財源率		自主財源率
4								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
										自主財源率		自主財源率		自主財源率
5								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
										自主財源率		自主財源率		自主財源率
6								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
										自主財源率		自主財源率		自主財源率
7								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
										自主財源率		自主財源率		自主財源率
8								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
										自主財源率		自主財源率		自主財源率
9								補助金		補助金		補助金		
								自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計
										自主財源率		自主財源率		自主財源率
計							補助金負担金合計	1,698	補助金負担金合計	1,539	補助金負担金合計			
							自主財源合計	200	自主財源合計	200	自主財源合計			
							自主財源率	11%	自主財源率	12%	自主財源率			

負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の交付先種別			
					全国	九州	県	その他
1	負担金額							
2	負担金額							
3	負担金額							
4	負担金額							
5	負担金額							
合計								

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	1,710
補正予算	
合計	1,710

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島ふるさと大使を選考し、運営を行う霧島市PRスタッフ運営協議会に補助金を交付することによって、県内外での観光宣伝の機会を通じて、霧島市を全国各地にPRでき、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光客を誘致するための宣伝を行う必要があるので妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島ふるさと大使を選考し、観光宣伝の機会を通じて、霧島市を全国各地にPRできるので妥当である。
	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	霧島ふるさと大使の観光宣伝の回数を増やせば、霧島市を観光地として認知してもらう機会が増え、成果向上の余地がある。
B 有効性 評価	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	霧島ふるさと大使は、霧島市の知名度・イメージアップを図る重要な存在であるので、廃止をすると観光宣伝を効率的に行えなくなり、霧島市を観光地として認知してもらう機会が減る。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	同協議会にかかる予算のうち、霧島ふるさと大使の制服の作成費が大きい。大使の任期を現在の1年から複数年に延長することにより、制服の作成費が削減でき選考会の費用も削減できる。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	同協議会の事務は職員1名であたっているが、協議会の運営を観光協会等に移譲することによって人件費の削減余地がある。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島ふるさと大使の募集は全市を対象に行っており、観光宣伝の機会を通じて、霧島市を全国各地にPRするため公平・公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b> 協議会の委員でもある観光協会等へ移譲すれば人件費、事業費の削減が図られる。 霧島ふるさと大使の任期を延長すれば事業費の削減が図れる。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
霧島ふるさと大使の研修を強化する等、大使のレベルアップを図ることで、霧島市を観光地として認知してもらう機会が増え、成果の向上が図られる。	事務局を観光協会等へ移譲するための協議を行う。 任期を延長するための協議を行う。

事務事業コード	752230	事務事業名	小倉井筒屋観光宣伝事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H14 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	
	コード	752230			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
平成14年より、新幹線需要の高い福岡・北九州地区において、鹿児島県の特産品や観光地等を総合的に紹介し、特産品の振興及び観光客の誘致促進を図ることを目的として、毎年1月中旬、北九州市小倉井筒屋において開催される「鹿児島県の物産と観光展」で、観光宣伝を実施している。この物産展は毎年、商圏の市民に心待ちにされており、年々売上伸張を果たす大型催事であり、物産展開催時に観光宣伝を実施し、更なる宣伝効果をあげることができる。 【観光宣伝】霧島九面太鼓(和奏)の公演、霧島ふるさと大使による観光宣伝、特産品等の来場者プレゼントの配布等			事務事業の概要と同様				
			平成22年度計画				
		前年度と同様					
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	来場者プレゼントの配布数	個	1,000	400	500	500	
イ	パンフレットの配布部数	冊	2,000	2,000	2,000	2,000	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	観光宣伝来場者	来場者数	人	46,000	72,000	72,000	72,000
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	霧島市の情報を得ることができる。	パンフレットの配布枚数	冊	2,000	2,000	2,000	2,000
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	霧島市を観光地として認知してもらおう。	温泉地知名度ランキング	位	31	29	24	23
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	460	22年度(予算)	460	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 新幹線需要の高い福岡・北九州地区において、鹿児島県の特産品や観光地等を総合的に紹介し、特産品の振興及び観光客の誘致促進を図る目的で、平成14年度から休霧島町の観光宣伝として実施している。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 特になし。
	補正予算額		0				
	予算合計		460		460		
決算額	国庫補助金		0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？ 井筒屋及び北九州市民からは、毎年恒例行事として喜ばれており、今後も事業を継続して欲しいとの要望がある。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		460				
	支出合計		460				

事務事業コード	752230	事務事業名	小倉井筒屋観光宣伝事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	403		403	403		403	403		403
9 旅費	57		57	57		57	57		57
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	460		460	460		460	460		460

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	460		460	460		460		460	
計	460		460	460		460		460	

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	460千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	460千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	752230	事務事業名	小倉井筒屋観光宣伝事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	鹿児島県、鹿児島県特産品協会が主催する観光物産展に参加し、観光宣伝を行なうことは、多くの方に霧島を知ってもらえるため、霧島市を観光地として認知してもらうことができるので結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、県外・海外からの観光客誘致活動を行う必要があるため、小倉での観光宣伝活動に税金を投入することは妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、観光宣伝への来場者であるため妥当である。意図は、観光宣伝により、情報の提供を受けることによって霧島市を観光地として認知してもらうことに結びつき、妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	会場の規模等により来場者が制限されるので、成果向上余地はない。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	霧島市を観光客と認知してもらうための活動が減ることになり影響がある。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 観光宣伝事業 霧島市の観光宣伝を行う事業であるため統合可能である。
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	観光協会との共同開催により、宣伝を行う参加人員を減らせば旅費等が少なくなり、事業費の削減余地がある。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	土日の開催で、人件費(時間外)は発生している。若手の職員を派遣するか、観光協会等と合同で実施し、職員の派遣の人数を減らせば、人件費の削減余地がある。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の観光について宣伝を行う事業であり、公平・公正といえる。

総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光協会との共同開催により、人件費・事業費の削減が見込める。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
行政だけの取り組みではなく、関係各機関と連携を取り、費用、動員等の役割分担を行えるよう働きかける。	観光宣伝事業と統合し、効率的に行う。

事務事業コード	752240	事務事業名	妙見温泉バス活動支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 14 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	コード	752240			
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)						
<p>市は、妙見温泉振興会温泉バス事業部へ妙見温泉バスの運営補助として補助金を交付している。          隼人駅→妙見温泉→鹿児島空港間を一日5便、鹿児島空港→妙見温泉→隼人駅間を一日6便運行している。年中無休。          (市の活動)妙見温泉振興会温泉バス事業部へ補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。          (振興会の活動)妙見温泉バスの運行          ※妙見温泉振興会とは、妙見地区の活性化と地域の振興を図ることを目的として設立した団体で、妙見温泉地区の事業主を会員として運営されている団体。</p>						
補助金・負担金の交付先	妙見温泉振興会温泉バス事業部		補助金の対象経費	妙見温泉バスの運行		
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 延べ運行便数		便	4,015	4,015	4,015	4,015
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 妙見温泉振興会	会員団体数	団体	20	20	20	20
イ 妙見温泉地区を訪れる観光客	観光客数	人	41,758	39,892	40,000	41,000
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 妙見温泉振興会温泉バス事業部の円滑な運営と財政の健全化を図る。	運賃収入総額	万円	409	371	380	400
イ 温泉バスを利用できる	乗降客数	人	11,957	11,850	12,000	400
ウ 妙見温泉に空港からバスで行ける	1便あたりの乗降客数	人	3	3	3	3
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%	未把握	未把握		
イ	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	18	19	18	17

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	2,800	2,500	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額				
	予算合計	2,800	2,500		
決算額	国庫補助金			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,800			
支出合計	2,800			特になし。	特になし。

事務事業 コード	752240	事務 事業名	妙見温泉バス活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)				
1	妙見温泉振興会温泉バス事業部	補助金	2,800	補助金	2,500	補助金	2,500			
		自主財源	4,530	自主財源	5,500	自主財源	5,500			
		対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
		合計	7,330	合計	8,000	合計	8,000			
		自主財源率	62%	自主財源率	69%	自主財源率	69%			
2		補助金		補助金		補助金				
		自主財源		自主財源		自主財源				
		対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
		合計		合計		合計				
		自主財源率		自主財源率		自主財源率				
3		補助金		補助金		補助金				
		自主財源		自主財源		自主財源				
		対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
		合計		合計		合計				
		自主財源率		自主財源率		自主財源率				
4		補助金		補助金		補助金				
		自主財源		自主財源		自主財源				
		対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
		合計		合計		合計				
		自主財源率		自主財源率		自主財源率				
5		補助金		補助金		補助金				
		自主財源		自主財源		自主財源				
		対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
		合計		合計		合計				
		自主財源率		自主財源率		自主財源率				
6		補助金		補助金		補助金				
		自主財源		自主財源		自主財源				
		対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
		合計		合計		合計				
		自主財源率		自主財源率		自主財源率				
7		補助金		補助金		補助金				
		自主財源		自主財源		自主財源				
		対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
		合計		合計		合計				
		自主財源率		自主財源率		自主財源率				
8		補助金		補助金		補助金				
		自主財源		自主財源		自主財源				
		対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
		合計		合計		合計				
		自主財源率		自主財源率		自主財源率				
9		補助金		補助金		補助金				
		自主財源		自主財源		自主財源				
		対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
		合計		合計		合計				
		自主財源率		自主財源率		自主財源率				
計		補助金負担金合計	2,800	補助金負担金合計	2,500	補助金負担金合計	2,500			
		自主財源合計	4,530	自主財源合計	5,500	自主財源合計	5,500			
		自主財源率	62%	自主財源率	69%	自主財源率	69%			

負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の交付先種別			
				全国	九州	県	その他
1	負担金額						
2	負担金額						
3	負担金額						
4	負担金額						
5	負担金額						
合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	2,800
補正予算	
合計	2,800

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	752240	事務事業名	妙見温泉バス活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	妙見温泉振興会に補助金を交付し、温泉バスを運行することは来訪者をもてなす受け皿をつくることにつながり結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光客を受け入れる体制を整備する必要があるので妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は温泉バスを利用する利用客であり妥当である。意図は温泉バスを運営する妙見温泉振興会へ補助金を交付することによりバスの運行ができ、来訪者をもてなす受け皿をつくることにつながるの妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	乗車人員が増えれば運賃収入額も増え、財政健全化も図られる。また、妙見温泉バスについてさらに周知することで利用者は増えると考えられる。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	空港や嘉例川駅から妙見への移動手段がなくなり、来訪者の利便性が図られない。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	最低限の事業費でバスの運行を行っており、削減余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	市は補助金交付事務のみであり、人件費の削減余地はない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は温泉バスの運行に対し補助金を交付し、乗車賃については妙見温泉振興会の収入となり、公平公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  温泉バスの更なる周知を行うことにより、乗客が増え、財政健全化を図ることができる。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
乗降客数を増やすための広報活動や、航空機、JRとの適切な連携が図れるような時刻表の調整などを検討しながら、運行していく。また、路線バスや周遊バス、ふれあいバス等との連携を図り、効率的な市の全体路線の見直しを検討する。	平成22年度と同様に取り組んでいく。

事務事業コード	752245	事務事業名	市観光協会活動支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 21 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則
	コード	752245			霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<p><b>手段</b> (事務事業の概要)</p> <p>(社)霧島市観光協会の事業及び運営補助として補助金を交付している。          (市の活動)同協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行う。          (同協会の活動)観光案内、霧島市の情報発信、観光商品の開発、宣伝用ポスターチラシの作成・配布          ※(社)霧島市観光協会は、(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会合併しH21年4月に発足した</p>							
補助金・負担金の交付先	社団法人霧島市観光協会			補助金の対象経費	運営と活動支援		
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)		単位		20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 補助した団体数		団体			1	1	1
イ							
ウ							
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)		<b>対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 観光業者・従事者		観光協会に加入している事業所数	数		235	240	245
イ							
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)		<b>成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 市観光協会の活動運営を支援することにより広くPRすることができる		観光宣伝をした回数	回		2	2	2
イ		イベントを実施した回数	回		7	7	7
ウ							
<b>結果</b> (どんな結果に結び付けるのか)		<b>上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 霧島市を観光地として認知してもらう		温泉地知名度ランキング	位	31	29	24	23
イ							

<b>(2) 事業費</b>		単位：千円		<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
予算額	当初予算額	15,439	霧島市が合併し、観光振興を一体となって推進するために、(社)霧島市観光協会は、(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会合併しH21年4月に発足した	(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会合併しH21年4月に発足した	
	補正予算額				
	予算合計	15,439			
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	15,439			
支出合計	15,439	特になし。	特になし。		

事務事業 コード	752245	事務 事業名	市観光協会活動支援事業	担 当 部	商工観光部
				担 当 課	観光課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)		
1	社団法人霧島市観光協会	補助金	15,439	補助金	15,439	補助金		
		自主財源	16,934	自主財源	24,000	自主財源		
		合計	32,373	合計	39,439	合計		
		自主財源率	52%	自主財源率	61%	自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
	●							
2		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
3		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
4		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
5		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
6		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
7		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
8		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
9		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
計		補助金負担金合計	15,439	補助金負担金合計	15,439	補助金負担金合計		
		自主財源合計	16,934	自主財源合計	24,000	自主財源合計		
		自主財源率	52%	自主財源率	61%	自主財源率		

負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名	負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の交付先種別			
					全国	九州	県	その他
1								
2								
3								
4								
5								
合計								

平成21年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	15,439
補正予算	
合計	15,439

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光協会に補助金を交付することにより、市内全域を効率的に観光案内、情報発信でき、県内外の方々に霧島市を観光地と認知してもらうことに結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は観光協会と共に霧島市の観光に関するリアルタイムな情報発信と県内外からの観光客誘致活動を行わなければならないため妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は観光協会の活動でもっとも恩恵をこうむる観光従事者・事業者で妥当である。意図は観光協会に財政的な支援を行うことにより市内全域を対象とした情報発信が可能になるので妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	市、観光協会と一体となり、様々な誘致セールスやイベント等を行うことで県内外の方々に霧島市を観光地と認めていただく機会がもっと増えてくると思われる。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市観光協会は21年度に合併したばかりで、補助金を廃止すると運営ができなくなり、大きな影響がある。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	H21年度に合併したことから3年間は健全運営をめざすため同額支援を行うが、新規会員の開拓や積極的に事業を展開することにより補助金への依存度が低くなると思われる。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	市は補助金交付事務のみであり、人件費の削減余地はない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光協会は霧島市全域を対象とした観光案内や情報発信等を行う団体であり補助金を交付することは公平・公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  情報提供・意見交換を蜜にし、市と観光協会と一体となった誘致宣伝活動や情報発信を行っていく必要がある。 観光協会へ新規会員の積極的な勧誘や歳入のある事業を実施してもらうよう働き必要がある。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

### (3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
霧島市補助金交付指針により、統合した団体については、運営費を3年を目処に交付できることとなっている。 新規会員の開拓や歳入のある事業を行ってもらうよう観光協会へ助言を行う。	補助金交付指針により3年目の年になるので、歳入のある事業の充実や新規会員の積極的な勧誘等を行うよう、協会に対し助言を行う。

事務事業コード	752251	事務事業名	和気公園藤まつり実行委員会活動支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 16 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	4	観光費		霧島市補助金交付規則
	コード	752251			霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<p><b>手段</b> (事務事業の概要)</p> <p>和気公園藤まつり実行委員会に同実行委員会の運営補助として補助金を交付している。運営費として、駐車場用地の借上料や交通警備員の経費、送迎バスの借上料等に充てている。(市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。(実行委員会の活動)和気公園藤まつりの開催          ※ 和気公園藤まつり実行委員会とは、和気公園の藤に市民に親しんでもらうことと、地域活性化を目的に開催される和気公園藤まつりの運営を行う団体。周辺住民や市職員によって構成されている。          &lt;関連計画&gt;霧島市観光基本計画</p>								
補助金・負担金の交付先	和気公園藤まつり実行委員会		補助金の対象経費	和気公園藤まつり実行委員会の活動に関する経費				
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)			単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	藤まつりの開催期間		日	13	11	13	13	
イ								
ウ								
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)		<b>対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	鹿児島県民	人口		万人	172	171		
イ								
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)		<b>成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	和気公園の藤を知ってもらう	藤まつりの来訪者数		人	28,257	22,634	30,000	32,000
イ								
ウ								
<b>結果</b> (どんな結果に結び付けるのか)		<b>上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	霧島市を観光地と認知してもらう	温泉地知名度ランキング		位	31	29	24	23
イ								

<b>(2) 事業費</b>		単位：千円		<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？		事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	1,154	230	観光姉妹町であった岡山県和気町より藤花100本程度が寄贈され、花卉1mにも及び見事な藤花が咲くようになったのをきっかけに周辺設備の整備を図り、平成16年から藤まつりとしてイベントを開催するようになった。	特に変化なし。
	補正予算額				
	予算合計	1,154	230		
決算額	国庫補助金			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,152			
支出合計	1,152			特になし。	特になし。

事務事業 コード	752251	事務 事業名	和気公園藤まつり実行委員会活動支援事業	担 当 部	商工観光部
				担 当 課	観光課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)		
1	和気公園藤まつり実行委員会		補助金	1,152	補助金	230	補助金	219
			自主財源	6,548	自主財源	7,325	自主財源	7,336
	対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計	7,700	合計	7,555	合計	7,555
		● ○	自主財源率	85%	自主財源率	97%	自主財源率	97%
2			補助金		補助金		補助金	
			自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
			自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3			補助金		補助金		補助金	
			自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
			自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4			補助金		補助金		補助金	
			自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
			自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5			補助金		補助金		補助金	
			自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
			自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6			補助金		補助金		補助金	
			自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
			自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7			補助金		補助金		補助金	
			自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
			自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8			補助金		補助金		補助金	
			自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
			自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9			補助金		補助金		補助金	
			自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
			自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計			補助金負担金合計	1,152	補助金負担金合計	230	補助金負担金合計	219
			自主財源合計	6,548	自主財源合計	7,325	自主財源合計	7,336
			自主財源率	85%	自主財源率	97%	自主財源率	97%

負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の交付先種別			
				全国	九州	県	その他
1	負担金額						
2	負担金額						
3	負担金額						
4	負担金額						
5	負担金額						
合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	1,154
補正予算	
合計	1,154

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	752251	事務事業名	和気公園藤まつり実行委員会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	和気公園で藤まつりを開催し、霧島市に沢山の見物客が訪れることにより、霧島市を観光地と認知してもらうことに繋がっている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は観光客を誘致するための宣伝や情報発信をする必要があり、藤まつりを開催し霧島市を宣伝することは妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、藤まつりに関して情報発信を行う県内の人々で妥当である。意図は、整備された藤棚を見に霧島市を訪れることにより、霧島市を観光地として認知してもらうことに繋がりが妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	平成21年度においてライトアップ設備を整備したので、夜間の入場者が増えることに伴い全体の入場者も増え、そのことにより霧島市を観光地として認知してもらえる機会が増える。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	和気公園藤まつりは、霧島市のイベントとして定着しており、まつりの開催を中止すれば、霧島市の魅力を伝える機会の一つが失われることになる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	平成22年度は補助金を大幅に減額している。藤まつりの自主財源率は97%(平成22年度予定)となっており、入場料等の収入により市の補助金を見直す必要がある。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金の交付事務は最低限な事務であり、人件費の削減余地はない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	藤まつりは入場料を徴収しているが、まつりの運営のためには駐車場用地の借上げ料や交通誘導警備員の配置、また、年間を通じて行われる藤の管理費など、入場料収入だけでは賅えない支出が伴うので公平・公正である。
総括	<b>(1)1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2)全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	平成21年度は前年度に比べて来場者数が減少している。これはまつり期間の悪天候が原因である。 平成21年度にはライトアップ設備を設置しているので、今後は夜間の来場者を増やす工夫をするなど来場者増に努めたい。	

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

### (3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
平成21年度においてライトアップ設備を整備したことにより、夜間の入場者増が見込まれ、入場料の増収により補助金の削減が期待できる。	テレビやラジオなど、マスコミを活用したPR。 ツアー客確保のための旅行代理店等への売り込み。

事務事業コード	752248	事務事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 20 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	
	コード	752248			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
市勢全般について理解を深め、それぞれの立場から市政に対する提言や意見をいただくとともに本市の観光や特産品等の市外への紹介、宣伝など本市のイメージアップにつながる活動及び本市への企業誘致や定住促進につなげるために、平成20年度より「霧島大使運営事業」を開始した。市勢の発展に寄与していただき、また更なる宣伝効果をあげることができる。委嘱は各部からの推薦に基づき行っている。 【大使委嘱者】辛島美登里・井上一樹・白鵬 翔 【観光宣伝】それぞれの活躍の場で霧島市をPRしてもらう。			事務事業の概要と同様			
			平成22年度計画			
		前年度と同様				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	委嘱者数	人	2	3	4	5
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	国民	億人	1.27	1.27	1.27	1.27
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	霧島市の情報を得ることができる。	枚	200	600	800	1,000
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	霧島市を観光地として認知してもらう。	位	31	29	28	27
イ						

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度 (決算)	626	22年度 (予算)	250	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 郷土出身の著名人等の活動範囲の広さや人脈等により、日本全国に霧島市の観光をPRしていただき、霧島市の良さを全国に発信していくために、平成20年度から実施している。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし。
	補正予算額		0				
	予算合計		626		250		
決算額	国庫補助金		0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？ 特になし。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		626				
	支出合計		626				

事務事業 コード	752248	事務 事業名	霧島大使運営事業				担当部	商工観光部		
							担当課	観光課		

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	573		573	226		226	226		226
消耗品費	126		126	58		58	58		58
燃料費									
食料費									
印刷製本費	447		447	168		168	168		168
光熱水費									
修繕料									
12 役員費	53		53	24		24	24		24
通信運搬費	53		53	24		24	24		24
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	626		626	250		250	250		250

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	626		626	250		250	250		250
計	626		626	250		250	250		250

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	573千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計		573千円		

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752248	事務事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の観光や特産品をはじめ著名人によるPRは、霧島市を観光地として認知してもらうことができるので結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、霧島市に観光客を誘致するための活動をする必要があり、妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、大使と業務上やプライベートでかかわりがある人ということで国民で妥当である。意図は、観光宣伝により、情報の提供を受けることによって霧島市を観光地として認知してもらうことに結びつき、妥当である。
	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	新たな大使の委嘱を行い、様々な分野で霧島市をPRしていただくことができれば、市の更なる知名度アップに繋がる。
B 有効性 評価	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	著名人によるPRを行うための有効な手段が失われる事になり、影響がある。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	名刺と盾のみを授与しており、他の経費が発生しないため削減余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	候補者推薦があった場合のみであり、恒常的業務ではないため削減余地はない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島のイメージアップにつながる活動であり、公平・公正といえる。

総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>	<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の記念行事等に来場、もしくはメッセージを寄せていただくことや、大使の活躍次第では更なるPR効果が期待できる。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

<b>(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか</b>	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
新たな大使の委嘱を行い、霧島市のPR活動に協力していただく。	平成22年度の取組みと同様。

事務事業コード	752228	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	2	地域の特色を活かした観光商品の開発の促進		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則
	コード	752228			霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

**手段** (事務事業の概要)

霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会に補助金を交付し、同実行委員会が行うスポーツ団体誘致活動を支援している。また、市は同実行委員会の事務局も担っている。  
 (市の活動)同実行委員会に補助金を支出するための手続きを行う。  
 (実行委員会の活動)団体誘致のためのセールス活動、歓迎レセプションの実施、誘致団体との連絡調整。  
 ※霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会とは、H8年よりJリーグをはじめとする各種スポーツ団体の合宿等を霧島市に誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した団体である。

補助金・負担金の交付先	霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会	補助金の対象経費	スポーツ団体歓迎行事に要する経費			
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 誘致活動回数		回	1	2	2	2
イ キャンプをPRした日数		日	22	13	13	13
ウ						
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)	<b>対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア プロ・アマチュアのスポーツ団体	現在誘致活動を行っている団体数	団体	6	5	6	6
イ 旅行エージェント	PRを行ったエージェント数	社				
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)	<b>成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 霧島市でキャンプを行ってもらおう。	新規にキャンプを行った団体	団体	3	3	3	3
イ ツアーを組んでもらう	ツアー数	本				
ウ						
<b>結果</b> (どんな結果に結び付けるのか)	<b>上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 観光に活用できる商品が開発される。	開発された観光資源の数	本	5	8	8	9
イ						

(2) 事業費 単位：千円

	21年度 (決算)	22年度 (予算)
予算額		
当初予算額	2,137	1,901
補正予算額		
予算合計	2,137	1,901
決算額		
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	2,137	
支出合計	2,137	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
平成5年度に発足したJリーグを誘致するため平成8年度からJリーグチームをはじめとするプロ・アマチュアのスポーツ団体を誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した。	特に変化なし。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
誘致団体からはスポーツ施設のより一層の充実が望まれる。市民からは地域に密着したスポーツ団体の誘致が望まれる。	特になし。

事務事業コード	752228	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会										補助金	2,137	補助金	1,901	補助金	1,901
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計	2,137	合計	1,901	合計	1,901
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
2											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計										補助金負担金合計	2,137	補助金負担金合計	1,901	補助金負担金合計	1,901	
										自主財源合計		自主財源合計		自主財源合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		

負担金交付の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の交付先種別			
	全国	九州	県	その他													
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
合計																	

平成21年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	2,137
補正予算	
合計	2,137

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	752228	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市でプロ・アマチュアのスポーツ団体がキャンプを行い、旅行エージェント等を活用してツアー等を創生できれば、観光に活用できる商品が開発されることに繋がり結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は国内旅行エージェントと共にスポーツを活かした観光商品ツアーを企画する必要があるので妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、霧島市でキャンプを行うプロ・アマチュアのスポーツ団体及び旅行エージェントであるので妥当である。意図は、多くの団体に霧島市でキャンプを行ってもらえば観戦ツアー等観光に活用できる商品が開発されるので妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市HPやスポーツ専門誌への霧島市の情報掲載、誘致セールスの回数を増やせば、キャンプ団体も増え、観戦ツアー等観光に活用できる商品の開発につながり、成果の向上余地がある。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	同実行委員会が行っている誘致・歓迎にあたって連絡・調整・実施に関する各種事務を廃止すれば、スポーツ団体の誘致ができなくなり、地域の特色を活かしたスポーツ観光商品が開発できなくなる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	現在は、市からの補助金のみで運営しており、他の事業収入等(旅館協会からの協賛金・選手とファンの有料の交流会等)を確保できる状態になれば市の事業費の削減の余地はある。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	実行委員会の運営を観光協会等の観光関係団体に委託できれば人件費の削減余地はある。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市へスポーツキャンプを誘致することを目的とした団体は他に存在せず、自主財源はないがスポーツキャンプが行われることにより、広くスポーツ振興等にも役立っており、公平・公正である。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の観光の振興を図るには欠かせない事業であるが、毎年、予算を削減され、十分な誘致セールスと情報発信ができないでいる。

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (3) 具体的な改善計画は不要	

#### (3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
プロ及びアマチュアのスポーツ団体にスポーツキャンプの誘致活動を行い、霧島市で多くのスポーツキャンプをしてもらう。また、これに伴い観光客へのツアー等の商品開発へも繋げていく。また、事務に関しても可能な限り効率を良くしていく。	プロ及びアマチュアのスポーツ団体にスポーツキャンプの誘致活動を行い、霧島市で多くのスポーツキャンプをしてもらう。また、これに伴い観光客へのツアー等の商品開発へも繋げていく。また、事務に関しても可能な限り効率を良くしていく。

事務事業コード	752250	事務事業名	龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会活動支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	2	地域の特色を活かした観光商品の開発の促進		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 9 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	
	コード	752250			
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<p><b>手段</b> (事務事業の概要)</p> <p>龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会に龍馬ハネムーンウォークin霧島の運営補助として補助金を交付している。          (市の活動) 補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行い、同実行委員会のメンバーにも参画している。          (同実行委員会の活動) 龍馬ハネムーンウォークin霧島の参加者の募集・当日の運営          ※同実行委員会は、霧島の自然や歴史を楽しむ事を目的に開催している龍馬ハネムーンウォークin霧島運営を行う団体。郵便局や市内業者を会員として運営されている。 &lt;関連計画&gt; 霧島市観光基本計画          開催時期: 3月中旬の土日(2日間)          参加料: [事前申込み] 一般1,800円、中・高校生900円、小学生以下400円          [当日申込み] 一般2,000円、中・高校生1,000円、小学生以下500円          コース: 霧島温泉、犬飼・中津川、花はきりしま菜の花、単人・天降川の4コース</p>								
補助金・負担金の交付先		龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会		補助金の対象経費		龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会の活動に関する経費		
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)			単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	事前申込者数		人	2,583	2,810	2,900	2,900	
イ	当日参加者数		人	897	1,099	1,100	1,100	
ウ								
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)		<b>対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	ハネムーンウォーク参加者	ハネムーンウォーク参加者数(延べ)		人	3,881	4,550	4,600	4,600
イ	鹿児島県民	人口		万人	172	171	171	171
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)		<b>成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	龍馬ハネムーンウォークに参加することにより、霧島市を歩きながら知ることができる。	ハネムーンウォーク参加者数(実人数)		人	3,480	3,909	4,000	4,000
イ								
ウ								
<b>結果</b> (どんな結果に結び付けるのか)		<b>上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	霧島市を観光地として認知してもらおう。	温泉地知名度ランキング		位	31	29	24	23
イ								

(2) 事業費

単位: 千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

		21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?		事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?	
予算額	当初予算額	2,229	2,229	1866年土佐の坂本龍馬と妻のお龍が日本で最初の新婚旅行に訪れた地、霧島を現代の龍馬とお龍になって歩き、霧島の自然や歴史を楽しむことを目的に平成9年から開催された。		平成19年度から、霧島地区の「花は霧島菜の花コース」と隼人地区の「単人・天降川コース」が追加された。平成20・21年度は実行委員会の事務局を担う団体がおらず、市で実行委員会の事務局を担った。	
	補正予算額						
	予算合計	2,229	2,229				
決算額	国庫補助金			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?		この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	2,229					
	支出合計	2,229		特になし。		特になし。	

事務事業 コード	752250	事務 事業名	龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会活動支援事業	担 当 部	商工観光部
				担 当 課	観光課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)		
1	龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会	補助金	2,229	補助金	2,229	補助金		
		自主財源	8,265	自主財源	7,878	自主財源		
		合計	10,494	合計	10,107	合計		
		自主財源率	79%	自主財源率	78%	自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
	●							
2		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
3		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
4		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
5		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
6		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
7		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
8		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
9		補助金		補助金		補助金		
		自主財源		自主財源		自主財源		
		合計		合計		合計		
		自主財源率		自主財源率		自主財源率		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
計		補助金負担金合計	2,229	補助金負担金合計	2,229	補助金負担金合計		
		自主財源合計	8,265	自主財源合計	7,878	自主財源合計		
		自主財源率	79%	自主財源率	78%	自主財源率		

負担金交付の状況

単位：千円

	団体名・協議会名	負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の交付先種別			
						全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

平成21年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	2,229
補正予算	
合計	2,229

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	752250	事務事業名	龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市で龍馬ハネムーンウォークを開催し、多くの人々に参加してもらえば、霧島市の名所・旧跡・観光地を歩きながら見ることができ、霧島市を観光地として認知してもらうことに繋がり、結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光客の誘客と霧島市をPRするために、様々なイベントを開催する必要があるため、妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、龍馬ハネムーンウォークの参加者であり妥当である。意図は、参加することにより、霧島市の名所・旧跡・観光地を歩きながら見ることができ、霧島市を観光地として認知してもらうことに繋がるため妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	参加者へのコース上でのサービスや、参加者への特典を増やせば参加者も増え、成果の向上の余地がある。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	ウォーキングイベントとして定着しており、廃止すれば霧島市のイメージダウンに繋がる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	実行委員会に市内の企業等を取り込み、スポンサーを募り採用したり、商店街等からの寄付の徴収を積極的に行い、参加料の見直しにより事業費の削減は可能である。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金の交付事務は最低限な事務であり、人件費の削減余地はないが、当日の運営に関しては、ボランティアを募り活用すれば、職員の動員が必要なくなり削減余地がある。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	イベント参加者から参加料を徴収し、運営しているので公平・公正である。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	実行委員会へ企業等を取り込み、スポンサーを募り採用したり、商店街等からの寄付の徴収を積極的に行い、参加料の見直しにより、事業費の削減は可能である。

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (3) 具体的な改善計画は不要	

### (3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
参加者へのコース上でのサービスや、参加者への特典を増やし、実行委員会へ企業等を取り込み、スポンサーを募り採用したり、商店街等からの寄付の徴収を積極的に行い、参加料の見直等を実行委員会へ呼びかける。	参加者へのコース上でのサービスや、参加者への特典を増やし、実行委員会へ企業等を取り込み、スポンサーを募り採用したり、商店街等からの寄付の徴収を積極的に行い、参加料の見直等を実行委員会へ呼びかける。

事務事業コード	752216	事務事業名	妙見安楽温泉街なみづくり活動支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年代~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	コード	752216			
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<b>手段</b> (事務事業の概要) 妙見温泉振興会・安楽温泉振興会に対し、国道223号沿線に花を植栽するための補助金を交付している。 (市の活動) 妙見温泉振興会・安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理・交付決定・実績報告・補助金交付)を行う。 ※妙見温泉振興会・安楽温泉振興会とは、地域の活性化と連帯感を深めることを目的として、設立された団体。地域住民を会員として運営されている。								
補助金・負担金の交付先	妙見・安楽振興会			補助金の対象経費	国道223号線に花を植栽するための経費			
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)				単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	補助した団体数		団体		2	2	2	2
イ	植栽等活動参加者数		人		38	30	35	40
ウ								
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)		<b>対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	市民	人口	人		127,450	127,662	128,640	128,868
イ								
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)		<b>成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	花を植栽することにより、妙見・安楽地区の景観が向上する。	妙見・安楽に植栽された面積	m <sup>2</sup>		1,000	1,000	1,000	1,000
イ								
ウ								
<b>結果</b> (どんな結果に結び付けるのか)		<b>上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	人		未把握	未把握		
イ	来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位		18	19	22	22

(2) 事業費 単位：千円

	21年度 (決算)	22年度 (予算)	
予算額	当初予算額	1,267	785
	補正予算額		
	予算合計	1,267	785
決算額	国庫補助金		
	県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	883	
	支出合計	883	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
国道223号沿線に花を植栽することによって、霧島を訪れる観光客に癒しの一時を提供するとともに、地域住民の連帯感を深めることを目的に昭和50年から開始された。	特に変化なし。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
特になし。	特になし。

事務事業 コード	752216	事務 事業名	妙見安楽温泉街なみづくり活動支援事業						担 当 部	商工観光部
									担 当 課	観光課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)			
1	妙見温泉振興会	補助金	499	補助金	444	補助金	399		
		自主財源	746	自主財源	444	自主財源	399		
		対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計	1,245	合計	888	合計	798
				自主財源率	60%	自主財源率	50%	自主財源率	50%
2	安楽温泉振興会	補助金	384	補助金	341	補助金	306		
		自主財源	396	自主財源	341	自主財源	306		
		対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計	780	合計	682	合計	612
				自主財源率	51%	自主財源率	50%	自主財源率	50%
3		補助金		補助金		補助金			
		自主財源		自主財源		自主財源			
		対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
				自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4		補助金		補助金		補助金			
		自主財源		自主財源		自主財源			
		対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
				自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5		補助金		補助金		補助金			
		自主財源		自主財源		自主財源			
		対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
				自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6		補助金		補助金		補助金			
		自主財源		自主財源		自主財源			
		対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
				自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7		補助金		補助金		補助金			
		自主財源		自主財源		自主財源			
		対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
				自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8		補助金		補助金		補助金			
		自主財源		自主財源		自主財源			
		対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
				自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9		補助金		補助金		補助金			
		自主財源		自主財源		自主財源			
		対象地区	全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
				自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計		補助金負担金合計	883	補助金負担金合計	785	補助金負担金合計	705		
		自主財源合計	1,142	自主財源合計	785	自主財源合計	705		
		自主財源率	56%	自主財源率	50%	自主財源率	50%		

負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の交付先種別			
				全国	九州	県	その他
1	負担金額						
2	負担金額						
3	負担金額						
4	負担金額						
5	負担金額						
合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	1,267
補正予算	
合計	1,267

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国道223号線沿いに花を植栽することは、来訪者をもてなす受け皿をつくることにつながるので結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は観光客を受け入れる体制を整備する必要があるので妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、国道223号を通行する市民であり妥当である。意図は、各地域に花を植栽することによって来訪者をもてなすことにつながる所以妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	花の植栽面積は限度があり、拡大、縮小の余地はない。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助金が廃止・休止になれば、花の植栽面積減少し、景観も低下する。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 花と緑のまちづくり推進事業
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	各通り会は最低限の予算で花を植栽しており削減余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	通り会も自主財源を投資しており、街並み全体がきれいになるので公平・公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  現状のままで支障はない。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	752226	事務事業名	観光ボランティアガイド運営事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H19年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	4	観光費		
	コード	752226			
関連計画	霧島市観光基本計画				

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
霧島市を訪れた観光客を対象に、観光地等の案内をする観光ボランティアガイド「霧島しっちょいど」を養成し、市内の観光地点で観光案内や史跡の解説を行う。 【ボランティアガイド数】28名(平成20年度4名養成中) 【ボランティア料金】観光客1人200円。10名以上は保険料100円が加算され、一人300円 【ガイドを行う場所】霧島神宮、和気公園、塩浸温泉、日当山地区(散策)			事務事業の概要と同様				
			平成22年度計画				
		前年度と同様					
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	ボランティアガイド養成研修の開催回数	回	5	4	4	4	
イ	ガイドを行った回数	回	21	29	40	50	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	ボランティアガイド	観光ボランティアガイドの人数	人	26	28	30	35
イ	ボランティアガイドに関心を持っている人	ボランティアガイドに登録していない人で養成研修を受けた人の数	人	4	2	5	5
ウ	霧島の観光客	観光統計	万人				
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	ボランティアガイドとしてのスキルが高まる。	ボランティアガイド養成研修の受講者数	人	26	28	30	35
イ	ボランティアガイドに登録してもらおう	新たにボランティアガイドに登録した人数	人	28	4	2	5
ウ	ボランティアガイドを利用してもらおう	ボランティアガイドを利用した観光客数	人	195	200	225	250
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	地域住民・観光事業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%	未把握	未把握		
イ	”	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	18	19	18	17

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	22	39	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 大河ドラマ「篤姫」の放映が決定し、県内の観光地では篤姫に関する史跡を巡る観光ツアーが増えてきたが、史跡めぐりの際にまちあるきの案内をするガイドは必要であり、平成19年度より本市でも取り組みを開始した。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 近年の旅行形態は単なる物見遊山的なものでなく、体験型が主流になっている。ボランティアガイドは実際にまちを歩き、テーマに沿った説明を聞き、そのものを見ると同時に住民とのふれあいもあることから、利用者のニーズに合った旅行形態であると考えられる。
	補正予算額	0			
	予算合計	22	39		
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？ 特になし	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	22			
	支出合計	22			

事務事業コード	752226	事務事業名	観光ボランティアガイド運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬	12		12	24		24	24		24
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	10		10	15		15	35		35
消耗品費							20		20
燃料費									
食料費	10		10	15		15	15		15
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	22		22	39		39	59		59

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	22		22	39		39	59		59
計	22		22	39		39	59		59

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	22千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	22千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752226	事務事業名	観光ボランティアガイド運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ボランティアガイドを養成し、市内の観光地点を低価格で案内させることは、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながり結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光客を受け入れる体制を整備することは市の責務であり、妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は養成するボランティアガイドとガイド利用者であり妥当である。意図はボランティアガイドとしてのスキルが高まり、利用者に霧島市を詳しく知ってもらうことは、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びつくので妥当である。
	B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?		<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	旅行者や旅行代理店等から要望も多く、今の時点で廃止することは観光客の減少を招き、霧島市のイメージダウンに繋がる。
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?		<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	ボランティアの協力による事業であり、最小の事業費しか投入していない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	ボランティアガイドの運営は市の職員が行っており、観光協会へ委託すれば人件費の削減が可能である。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光客一人に対し200円のガイド料を徴収しており、費用負担は適正である。

総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	定期的な研修会を継続して人材を育成すると共に、ガイド同士の意見交換会等まだまだ知られていない地元の史跡等を紹介してもらい、新たなガイドコースになり得ないか調査する。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
新たな人材を発掘し、ガイドをすることで同じ観光地でも違った視点から観光地を楽しむことができるので、リピーターの増加に期待できる。	研修会等に観光協会事務局からも参加してもらい、将来的に業務の主管を観光協会に移管する方向で調整する。

事務事業コード	752241	事務事業名	霧島よかとこ案内所運営事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 19 年代~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	款	7	商工費		
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	特になし
	目	4	観光費		
	コード	752241			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
霧島市を訪れる観光客に対し、霧島市のどこにいても観光案内ができるよう、市内にある店舗等の事業所で道案内、観光地・観光施設などの紹介、パンフレットの配布を行ってもらう「よかとこ案内所」を設置している。 よかとこ案内所には、専用ののぼり旗が設置してあり、トイレだけでも立寄り可能。 市は、よかとこ案内所に対してパンフレットやマップ・観光早見表を配布し、案内所がいつでも観光案内ができるように努めている。 選考基準は、特にないが同一地域内で密集しないように選んでいる。選んだ業者の方に了承を得、よかとこ案内所として協力していただいている。 今後は、更に観光客の方に利用していただけるよう、情報の共有化等図っていく。			事務事業の概要と同様			
			平成22年度計画			
		前年度と同様				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	依頼した事業所数	箇所	100	100	100	100
イ	パンフレットの配布回数	回	8	7	10	10
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	霧島市を訪れた観光客数	人	7,713,018	7,559,898	7,560,000	7,600,000
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	市内の様々な店舗で観光案内がされるようになる。	枚	5,000	4,500	6,000	6,000
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	%	未把握	未把握	—	—
イ	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	18	19	18	17

(2) 事業費 単位:千円

	21年度 (決算)	22年度 (予算)
予算額	当初予算額	55
	補正予算額	0
	予算合計	55
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	263
	支出合計	263

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
近年、旅行形態が変化し、旅行者のニーズとして住民とのふれあいを求めるケースが増えている。この事業は旅行者にタイムリーな情報提供を行うことと、住民による観光案内により住民とのふれあいを果たすことができることから平成19年度から開始された。	特に変化なし。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
特になし。	特になし。

事務事業 コード	752241	事務 事業名	霧島よかとこ案内所運営事業				担当部	商工観光部		
							担当課	観光課		

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	263		263	55		55	55		55
消耗品費	105		105						
燃料費									
食料費									
印刷製本費	158		158	55		55	55		55
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	263		263	55		55	55		55

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	263		263	55		55	55		55
計	263		263	55		55	55		55

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	263千円		
	補正予算			
	第1回(6月)	第5回		
	第2回(9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		
予算合計	263千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752241	事務事業名	霧島よかとこ案内所運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	よかとこ案内所を開設し、霧島市を訪れる観光客に対し、市内のいたるところで観光案内ができるようになることは来訪者をもてなす受け皿ができることにつながり結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光客を受けれる体制を整備するということは市の責務であり、妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は観光案内をするよかとこ案内所であり妥当である。意図はよかとこ案内所が充実されることは来訪者をもてなす受け皿ができることに結びつくので妥当である。
	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	「霧島よかとこ案内所」をさらに増やすことで観光客の案内の機会も増えパンフレットの配布枚数も増加し、成果を向上させることができる。
B 有効性 評価	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	観光客が手軽に道を聞いたり、パンフレット等を手に入れる場が減り、観光客の受け入れ機能が落ちる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費はのぼりの作成費用のみであり、最低限の事業費であるので削減余地は無い。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	観光協会に委託することで人件費の削減余地はある。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市役所、観光協会等でしか手に入らなかったパンフレットやマップを市内いたるところで入手することができ、公平・公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  今後も案内所の数を増やし、観光客の受入態勢を強化する。将来的には観光協会へ委託する。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
案内所の数を増やしていくために、協力依頼を市内店舗等に行っていく。 案内所が増えることで、観光客の利便性を高める。	案内所の数を増やしていくために、協力依頼を市内店舗等に行っていく。 観光協会への事務委託に関する協議

事務事業コード	752249	事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	
	コード	752249			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
平成17年より霧島からえびの高原行き交通アクセスがなく登山者が不便なため、毎週土日に霧島神宮駅から霧島神宮、高千穂河原を経由してえびの高原まで2往復バスを運行している。但し5月は利用者が多い為、毎日運行している。運行総事業費から運賃収入を引いた差額を市が委託料として支出している。 【委託先】いわさきバスネットワーク(株) 【バス停】霧島神宮駅→霧島神宮→高千穂河原→新湯温泉→大浪池登山口→えびの高原(及びこの逆) 【料金】霧島神宮駅→霧島神宮→高千穂河原→新湯温泉→大浪池登山口→えびの高原 (240円) (430円) (600円) (660円) (740円)			事務事業の概要と同様				
			平成22年度計画				
		前年度と同様					
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	延べ運行便数	便	504	500	500	2,920	
イ	運行日数	日	126	125	125	365	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	霧島の観光客	宿泊及び日帰り客数	万人	771	756	770	780
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	利用者(登山者、観光客)は霧島連山の縦走を車を気にせず、楽しむことができる。	乗車率	%	8	10	12	15
イ	霧島連山周遊バス利用者	利用者数	人	4,136	4,826	5,000	10,000
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%	未把握	未把握		
イ	”	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	18	19	18	17

(2) 事業費		単位:千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?	
予算額	当初予算額	400	263	平成17年より霧島からえびの高原行き交通アクセスがなく、登山者が不便であったために開始された。	特に変化なし。
	補正予算額	0			
	予算合計	400	263		
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	52			
	支出合計	52			
			特になし。	特になし。	

事務事業コード	752249	事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	52		52	263		263	16,007		16,007
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	52		52	263		263	16,007		16,007

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	52		52	263		263	16,007		16,007
計	52		52	263		263	16,007		16,007

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	400千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	400千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島連山を周遊するバスを運行することは、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光客を受入れる体制を整備する必要があるため妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	登山客の利便性を確保するために運行するものであり、対象・意図とも妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	現在、霧島神宮～えびの高原間を2往復しているが、今後、バス会社や利用者との協議や聞き取りを重ねていくことにより、より利用しやすいダイヤ調整を行うことで成果の向上余地はある。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	登山客の受入れの条件として、重要な施策の一部と考えるので事業を中止すれば、霧島連山の縦走ができにくくなり、登山者の減が想定される。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	バス利用者が増えれば、バス会社に対する市からの委託料を減らす事ができる。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	委託料の交付事務のみであるので削減の余地はない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	周遊バス利用者からは乗車賃を徴収しており、公平公正である。
総括	<b>(1)1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2)全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		周遊バスの利用者は年々増加してきており、市としては一層の広報活動に力を入れていく必要がある。

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1)評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
平成22年度においても周遊バスの周知・案内を引き続き行い、更なる利用者の増加を図ることにより、市の支払う委託料の減額も期待できる。	現在のルートは霧島神宮駅～霧島神宮～高千穂河原～えびの高原間で、丸尾地区から高千穂河原、えびの高原へ向かう路線がない。そこで既存路線に加え、丸尾～高千穂河原間の往復便を1路線追加することにより、丸尾から高千穂河原へ向かう便と、途中新湯乗り換えを行うことによる丸尾からえびの高原へ向かう便と確保でき、丸尾を基点とする観光客の利便性向上が図られる。また、土日及び5月(毎日)のみの運行から毎日運行へ変更する事により、旅行商品への組み込みもし易くなり、観光誘客数の増加が期待できる。

事務事業コード	752257	事務事業名	花と緑のまちづくり推進事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H3 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	
	コード	752257			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
市は、「花は霧島・たばこは国分」と民謡にあるように、花に彩られた霧島を演出し、美しい観光霧島のイメージ定着化を図るため、上野原縄文の森入口(50%)と国民休養地周辺・農大跡地(5%)・霧島温泉駅等(15%)を利用してそれぞれの場所のイメージに合った花(チューリップ、コスモス、菜の花等)を植栽している。 花の植栽や維持管理については、シルバー人材センター等に委託している。			事務事業の概要と同様				
			平成22年度計画				
		前年度と同様					
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	作業にかかった人員	人	30	30	30	30	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	上野原縄文の森入口(原野)及び国民休養地周辺・農大跡地・霧島温泉駅	植栽面積	a	707	707	707	707
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	花を植栽することにより整備される	苦情件数	件	1	1	0	0
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる	地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%	未把握	未把握	65	75
イ		もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	18	19	22	22

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	1,357	22年度(予算)	1,357	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 平成3年に開設した上野原縄文の森の残地(市有地)に花を植えることによって、訪れる人に癒しを与えることを目的に開始された。また、国民休養地周辺・農大跡地・霧島温泉駅等については平成15年から開始された。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし
	補正予算額		0				
	予算合計		1,357		1,357		
決算額	国庫補助金		0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ なし	この事務事業に対する議会から出された意見 なし
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		1,219				
	支出合計		1,219				

事務事業 コード	752257	事務 事業名	花と緑のまちづくり推進事業				担当部	商工観光部
							担当課	観光課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	348		348	383		383			
消耗品費	331		331	364		364			
燃料費	17		17	19		19			
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	584		584	586		586			
14 使用料及び賃借料	287		287	388		388			
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,219		1,219	1,357		1,357			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,219		1,219	1,357		1,357			
計	1,219		1,219	1,357		1,357			

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	1,357 千円		
	補正予算			
	第1回 (6月)	第5回		
	第2回 (9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		
予算合計	1,357 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>		
	・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	花を植栽することにより、原野が整備され、景観も美しくなり、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながり結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b>		
	・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市有地の原野に花を植栽し、観光客を受け入れる体制を整備することは市の役割であるので妥当である。
B 有効性 評価	<b>対象・意図の妥当性</b>		
	・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は植栽をする原野であり妥当である。意図は花植栽をして原野が整理されることは、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながるため妥当である。
C 効率性 評価	<b>成果の向上余地</b>		
	・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	維持管理を徹底し、また広く周知することにより、来訪者数も増え、成果の向上が更に図られる。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>		
D 公平性 評価	・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	観光施設や観光沿線が花がなく荒地の状態だと、観光客に悪い印象を与えてしまうので廃止はできない。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>		
	・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
D 公平性 評価	<b>事業費の削減余地</b>		
	・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	長持ちのする花を植栽するなど、事業費の削減が可能である。
D 公平性 評価	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>		
	・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	維持管理をすべて外部へ委託しているため、削減余地がない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>		
	・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	老若男女問わず、誰もが見学でき、また憩いの場として利用できる。また観光地の沿線の荒れている原野の整備にもつながり公平である。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	維持管理の方法や情報発信を効率的に行うことにより、更に成果の向上につながる。

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (3) 具体的な改善計画は不要	

#### (3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
・維持管理を徹底、長持ちのする花を選定し植栽する →経費削減に繋がる ・植栽後に広報、PR等を徹底する →誘客及び観光地霧島のイメージアップに繋がる	